

令和7年度 第3回 南の星小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2025年12月8日（月） 10時00分～11時30分
- 2 開催場所 南の星小学校 1階会議室
- 3 出席委員 小林睦夫、大石享志、稻鶴久美子、古山真季、佐藤政美、大石修代
- 4 欠席委員 原川 翼、BAMBANG HARIANTO、HASHIMOTO IZABELA
- 5 オブザーバー 中村優作（五島協働センター所長）
- 6 学校 竹村元清（校長）、古橋水無（教頭）、進士義光（CSディレクター）
- 7 教育委員会 山本美世絵（学校・地域連携課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 進士義光
- 10 議長選出
司会の教頭から議長の選出について委員に意見を求めたところ、小林会長が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。
- 11 協議事項
 - （1）ライフジャケットについて
 - （2）外部人材の募集・運用の方策について
 - （3）その他
- 12 会議記録
司会から、委員総数9人のうち6人の出席があり過半数に達している為、会議が成立している旨の報告があった。
校長より1・2学期の取り組みと学校の様子について以下の報告があった。
 - ・ 外部講師による講演会や農業体験、校外学習など多くのイベントや南の星幼稚園の園児、特別支援学校の児童の交流を通し、南の星小が目指す学校像「豊かな関わり合い」を体現できた。
 - ・ 全国学力調査は国語・算数・理科が全国平均より低かった。これは文章理解が弱いためだと思われる。一方、ICT活動や国語や算数、理科の授業が好きの割合が全国平均より高かった。
 - ・ 思考する力や表現する力がつくように多言語絵本（在籍する10ヶ国の児童の言語）を購入。
 - ・ いじめについては認知4件（解消4件）、問題行動はゼロだった。
完全不登校はゼロ、週1，2回登校児童は5名ほどだった。
 - ・ 来年度の新1年生は33名（1学級）を予定している。（全校220名）

熟議

- （1）ライフジャケットについて
議長の指示で、教頭からライフジャケット導入を協議事項にした背景の説明が以下にあった。
7月末のカムチャッカ半島沖地震による津波警報の発令を受け、学習発表会時に保護者より舞阪小はライフジャケットが装備されていると聞いたが本校でも装備して欲しいと言われた。
尚、舞阪小は入学説明会でライフジャケットを紹介し全員購入している。
（舞阪小で採用のライフジャケット（M・L）を業者より借り、委員で回覧し試着した。）

ジャケット使用経験が身内にいる佐藤委員から状況説明があった。

- ・甥っ子がMを購入し、細身の体型ではあるが高校の今でも着用できる。実際小学校で購入して中学に上がっても使える丈夫なジャケットである。(佐藤)
- (教頭補足) 卸業者によると最初はMを購入する児童が多い。職員はLを購入。S・M・L 共 6,800 円

まず、必要かどうか委員から以下の意見があった。

- ・あれば安心に繋がる。(稲鶴・大石修)
- ・本当に地震が起きた時、海に近い南の星小にライフジャケットが装備してなかったことを問われ兼ねないと思う。PTA 会費を集めていないので、学校が負担するのは難しいのではないか。(小林)
- ・学校が装備する必要はなく、各家庭で準備(購入)がいいと思う。例えば、入学時に学校が勧めるジャケットを何点か紹介し選んで貰い、徐々に導入していく方法もありかも。ただ高額で購入できない家庭も考えられるので学校側の援助も検討が必要。(大石享)
- ・あれば安心材料になる。ただ購入を委ねると、ある子・ない子に分かれことを懸念する。(稲鶴)
- ・保護者には高価なランドセルに使うお金を少しジャケット購入に回して欲しい。6年間使うと考えると、月100円程度。値段が異なる3パターン程のジャケットを学校側で紹介して選んで貰ったらどうか。(小林)

*協議の結果、ライフジャケット導入を前提に学校側に委ねることで全員異議なく承認した。

(2) 外部人材の募集・運用の方策について

教頭から給食ボランティア(1年生保護者)、ミシンボランティア(6年生保護者)の実施効果は保護者・担当教師共に児童の成長した様子が分かり良かった点や双方のコミュニケーションが取れたと報告があった。しかし過日の「学習発表会」では教師の手が足りず会場係がないことで来校者(保護者)の統率が取れない事象が発生した。学校側からは今後、具体的にどのようなことが出来るかご意見を伺いたいと述べた。

- ・以前は運動会の写真係として腕章を付け学級理事が活動していたので、学習発表会にもこのシステムを復活させたらどうか。今後運動会などでも活用できるのではないか。(小林)
- ・学級理事が会場係につくことができると思う。(古山)

*協議の結果、学級理事を活用・復活することで全員異議なく承認した。

(3) その他

教頭から現在CSだよりを学校に関わる児童にさくら連絡網で一斉配信している。どんな活動をしているか地域の方に知って貰うため地域にも配布をとCSミーティングで声が上がった。回覧という形で今後、各地区に配布したい。

- ・学校の活動を「学校だより」「CSだより」で情報発信していくことは必要(小林)

連絡事項

教頭から、次回の協議会は来年2月9日(月)14時30~16時00分 南の星小学校会議室で開催する旨の報告があった。また学校運営協議会自己評価用紙の実施について配布資料にある自己評価用紙を12月23日(火)締切で提出をお願いしたいとの発言があった。